

投資事業評価調書(新規)

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 上野 勉 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
------	-----	---------------------	-----------------------	----	----------------

事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	約1.5 億円
		通常砂防事業 みのほた 三野畑川		内用地補償費	約0.16 億円

所在地			事業採択 予定年度	着工予定 年 度	完成予定 年 度
津名郡 五色町 ^{みのほた} 三野畑			18年度	18年度	20年度

事業目的	事業内容
土石流災害対策 ・土石流危険渓流に該当し、渓岸の浸食が進んでおり土砂災害の危険性が高まっているため、えん堤工を設置して地域住民の人命、財産、町道及び災害時の指定避難所である三野畑公会堂を保全する。	・砂防えん堤工 1基 (H = 11.0m , L = 50.0m) 〔負担割合 国:1 / 2、県:1 / 2〕

評価視点	評価結果の説明
(1)必要性 安全、安心	・三野畑川は土石流危険渓流である。 ・渓岸の浸食が進み流域内も荒廃しているが、土石流対策として整備率は低い水準にある。 ・保全対象:人家 = 9戸、公共施設 = 町道、三野畑公会堂(避難所)、田畑 = 2.7ha
地域の活性化	・砂防えん堤工事により土砂災害の危険性を軽減し、地域の生活道路である町道を保全することにより、地域間の交流に一層寄与する。
快適性・ゆとり	・えん堤設置により土石流を止め、下流域への土砂氾濫を防止することにより、安全で快適な生活空間を提供する。
その他	・地元の土砂災害に対する認識度も高く、事業化への要望が強い。 ・過疎対策法対象町に該当し、砂防えん堤工の整備により条件不利地域の安全性向上に寄与する。
(2)有効性・効率性 有効性	・人命・財産(人家9戸)、町道及び災害時の指定避難所である三野畑公会堂が保全されるので、事業実施による投資効果は大きい。
効率性	・地元からの要望が強く、町等の協力体制が有るので円滑な事業執行が可能である。
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、工事による法面については緑化を図るなど環境保全に努める。
(4)優先性	・土石流の想定被害区域には人家9戸、町道及び災害時の指定避難所である三野畑公会堂がある。 ・平成16年10月の台風23号豪雨により下流へ土砂が流出し、それにより人家6戸が被災しており、今後も土砂災害の危険性は高い。三野畑地区の人命・財産等を保全するため早急な対策が必要である。